

平成23年度 小学校連携実施プログラム一覧

(単位 人)

	月	日	曜	学校	学年	プログラム	参加 児童	講師	備考
1	5	11	水	長久手小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	35	7	
2		12	木				34	8	
3		13	金				34	8	
4		18	水	市が洞小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	32	8	
5		19	木				32	8	
6		20	金				32	8	
7	6	1	水	東小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	34	8	
8		7	火	北小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	31	8	
9		8	水				34	8	
10		9	木				33	8	
11		10	金				31	9	
12		16	木	西小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	35	8	
13		17	金				37	9	
14		21	火	市が洞小学校	3	おこしもの作り	36	13	
15		22	水				34	12	
16		23	木				34	14	
17		24	金				35	14	
18		28	火				特別支援学級合同	小1~中3	カレーライス作り交流会
19		29	水	長久手小学校	1	セタかざり	28	5	
20		30	木				26	5	
21	7	1	金				28	5	
22	9	14	水	南小学校	5	飯盒炊さん、カレーライス作り	39	9	
23		15	木				39	8	
24		16	金				39	9	
25	10	25	火	南小学校	2	走る木車作りと秋の体感	33	5	
26		26	水				32	5	
27		27	木				33	5	
28		28	金				33	6	
29	11	2	水	東小学校	1	カスタネットとドングリやじろべえ作り	33	6	
30		8	火	北小学校	2	松ぼっくりのクリスマスツリー作りと 焼き芋	27	9	
31		9	水				27	10	
32		10	木				27	8	
33		11	金				27	9	
34		24	木	市が洞小学校	2	餅つきと昔の遊び体験	30	9	
35		25	金				29	9	
36		30	水				30	8	
37	1	木	31				9		
38	12	2	金	西小学校	2	餅つきと昔の遊び体験	31	9	
39		14	水				25	8	
40		15	木				26	8	
41	16	金	26	8					
42	1	25	水	南小学校	3	おこしもの作り	38	12	
43		26	木				37	12	
44		27	金				35	12	
45	2	1	水	東小学校	3	かまどでご飯を炊いて五平餅を作ろう	33	12	
46		8	水	長久手小学校	2	餅つきと昔の遊び体験	31	12	
47		9	木				31	12	
48		10	金				31	12	
49		14	火				30	12	
50		15	水	北小学校	1	おこしもの作り	30	12	
51		16	木				29	12	
52		17	金				31	12	
53		23	木	西小学校	3	おこしもの作り	40	12	
54		24	金				41	12	
合計54回							1750	494	

平成 23 年度 小学校連携事業 児童作文抜粋

飯盒炊さん、カレーライス作り、キーホルダー作り、お米の話

◎長久手小 5年 5月11日、12日、13日

- ・野菜のきり方はよく知らなかったけど、講師の先生がやさしく教えてくれたおかげで、きれいにきれいになった。
- ・包丁で玉ねぎをきったら、目にしみた。こういうことははじめてだったので、「こんなにしみるんだ」とびっくりした。
- ・薪を割る時は足を開くとか、最初は薪を手で持ってやるとかなどを教えてもらったのでうまくできた。
- ・薪割りを教えてもらって楽しかったから、30本ぐらい割った。
- ・飯盒を炊くとき、煙だらけで目が痛くて苦勞した。
- ・木をかまどの中に入れるタイミングが難しかった。でも楽しかった。
- ・飯盒で作ったごはんは家で食べるよりもとてもおいしかった。
- ・「いただきまーす。」と言って口に運んだカレーライスはとてもおいしくいっぱいおかわりをした。
- ・男の子が作ったご飯はもちもちでおこげもあってとてもおいしかった。
- ・自分たちで作ったカレーは、今まで食べた中で一番おいしかった。
- ・飯盒を洗うとき、ごはんをぬるぬるしていたり、こげたりしているところがあって、なかなかよごれがとれなかった。
- ・早くてきばきやれば、おいしいカレーができるんだなあとと思った。
- ・キーホルダー作りでは、ウサギをかいたが、だれも作れないオリジナルなものできた。一生の記念になった。
- ・キーホルダーに描いた絵は上手に描けなかったけど、世界に1つだけの自分の物になった。
- ・キーホルダー作りは楽しかったし、キーホルダーの台も木でできていたから、平成こども塾は自然を大切にしているなあとあらためて思った。
- ・お米の話は、実物を見せてもらったりして、知らないことばかりで勉強になった。
- ・世界でとれるお米で、80%がインディカ米だとわかりました。

◎市が洞小 5年 5月18日、19日、20日

- ・カレーを作るとき、野菜の切り方、ジャガイモの皮のむき方など、たくさんのお話を教わった。
- ・ジャガイモの皮をむいていたら、親指の皮まで切ってしまった。
- ・レンガで炉を作るとき、レンガをあげたら、でかいムカデがいて驚いた。
- ・炉を作るときは、風の向きに気をつけて作るということも教えていただいた。
- ・火が消えないように、細い木と木の皮を入れたり、火箸で木をクロスして入れたり、空

気をあてないといけないことなど、ここに来て初めて知った。

- ・にんじんを味見するとき、やわらかくて、とってもおいしかった。
- ・薪割りは最初こわくてやりたくなかったけど、やってみたらとても楽しかったので、2回やった。
- ・腰を落として、足を開いて薪割りをすると、力が入ることが分かった。
- ・カレーがおいしかったので、4はいもおかわりしてしまった。
- ・いつも食べるカレーライスよりも100倍おいしかった。6回おかわりした。
- ・飯盒で炊くと、ご飯の食感ほもちもちしていて、おいしかった。
- ・後片付けは大変だったけど、次に来た人にも気持ちよく使ってもらいたかったので、みんなで協力してきれいにした。
- ・鍋を洗っているとき、講師の方がぬれないように袖をまくってくれた。
- ・講師の先生に野菜の切り方、皿の洗い方など、最初から最後まで丁寧に教えていただいた。
- ・キーホルダー作りは、かなり気にいった自分のオリジナルのキーホルダーが作れてとても嬉しかった。
- ・キーホルダー作りの時は、好きな絵を描いて、世界に1つだけのキーホルダーを作った。いい思い出になった。
- ・米の話の中で、インディカ米を見せてもらったが、すごく細長いと思った。
- ・日本で半分以上食べられているのは、コシヒカリだとわかった。
- ・お米の話はクイズ風になっていたので楽しく勉強できた。
- ・今日、こども塾でしたことすべてが楽しくて、一番楽しかったことは決められない。

◎東小 5年 6月1日

- ・薪が割れたときのスッキリ感がとても気持ちよかった。
- ・飯盒で炊いたご飯は、ご飯だけでもおいしかった。
- ・姉二人とも、カレーは「シャビシャビになった。」と言っていたので、帰ったら、「最高のカレーだった。」と思いきり自慢してやろうと思う。
- ・カレー作りは、お肉が牛肉でおいしかった。
- ・みんなで協力して作ったカレーは最高においしかった。
- ・しっかり話を聞いていたので、カレー作りは上手にできた。
- ・後片付けは大変だったが、他の班の人が手伝ってくれて助かった。みんな笑顔でできてよかった。
- ・私はキーホルダーに自分の顔と、一番好きなものを描いたが、とてもうまくでき、よい思い出になった。
- ・キーホルダー作りは、てっきりプラスチックだと思っていたら、自然の木だったのでびっくりした。
- ・インドの米やジャワの米が日本の米と形が違っていることがわかった。

◎北小 5年 6月7日、8日、9日、10日、

- ・肉を切るとき、ふちやふちやして滑って、切りづらく、ジャガイモは固く難しかった。
- ・にんじんのイチウ切りを講師の先生にわかりやすく教えてもらって、すぐにできるようになった。
- ・炉を組み立てるとき、ムカデがいた。すごく大きかった。
- ・飯盒をのせるとき、煙が目に入ってきて、いたくて涙がでちゃった。
- ・木を炉に入れたら火力が強くなり、すごく顔が熱くなった。
- ・薪の入れ方は、ずっと縦に入れるのではなく、横や斜めにも入れると教えてもらった。そうするとすごく燃え上がった。
- ・斧を持ったりするのが怖かったけど、何本も切れたのですごく嬉しかった。
- ・薪に節があると固いということを学んだ。
- ・薪割りで、木がパカッと割れると気持ちよかった。
- ・みんなでがんばって作ったカレーはおいしかった。
- ・玉ねぎは大嫌いだったけど、今日カレーに入っている玉ねぎはすごくおいしかった。
- ・家で炊いた炊飯器のご飯より、飯盒で炊いたご飯の方がおいしかった。
- ・カレーがおいしすぎて3杯もおかわりしてしまった。
- ・鍋のすすが全然とれなくて困っていたら、「洗剤で洗ったら。」と言われ、使ってみたら急に汚れが落ちた。
- ・飯盒のすすが新聞紙で落ちることがわかった。
- ・みんなが世界に1つだけのキーホルダーを作っていて「すごいな」と思った。
- ・キーホルダー作りでは、記念に残るキーホルダーができあがってうれしかった。
- ・キャンプではもっとときばき動かなきゃいけないので、大変だなと思った。
- ・今日は楽しいことがいっぱいあって最高の日でした。
- ・お米の話で、クイズ形式で進められ、一番ワクワクした。
- ・インディカ米っていう米が細長いなんて初めて知った。
- ・米にはいろいろな種類があり、全部の米を食べてみたいと思った。

◎西小 5年 6月16日、17日、

- ・講師の先生に教えてもらったおかげで、苦手な包丁が上手に使えるようになった。
- ・にんじんを薄く切るとは難しく、全然切れなかった。
- ・米を飯盒に入れるとき、こぼしてしまって大変だった。
- ・飯盒は中ふた、外ふたが計量の役目もしていることを初めて知った。
- ・レンガの下にムカデがひっついていたので、「ひーっ」と思いながらレンガを運んだ。
- ・マッチでつけた火がすぐに他の所に燃え移り、ほんのわずかな時間で全体に燃え移った。火のすごさと同時に怖さをあらためて知った。
- ・木を入れるときは、木と木を重ねずに空気が入るように入れることを学んだ。
- ・火の調節は難しかったが、だんだんできるようになってきた。
- ・途中でエンジンの試食をしたとき、ホカホカしてとても甘かった。
- ・薪割りはなかなかうまくいかなかったが、何度かやっていると少しずつ割れるようにな

ってきた。

- ・薪割りには最初は慣れなくて、うまく割れなかったけど、コツを教えてもらいうまくできるようになった。
- ・コクが深くでとろみのあるカレーはとてもおいしく「やっぱみんなで作ったカレーはおいしいなあ。」とあらためて思った。
- ・後片付けのとき、4つの班が一つになってみんなで、協力して片付けができたので、少し早く後片付けができた。
- ・普段仲良くない男女が、今日は協力してできた。
- ・キーホルダーはとても気に入った作品ができ、うれしかった。
- ・キーホルダー作りで、スライムとモンスターの絵を描いた。うまくできたので嬉しかった。
- ・普通の茶碗には、2000~3000粒の米が入っていることを今日初めて知った。
- ・稲一つに97粒の米がついていることにびっくりした。
- ・日本ではジャポニカ米というお米を食べている事を初めて知った。

◎南小 5年 カレー作り 9月14日、15日、16日

- ・ニンジンと玉ねぎを薄く切るために一生懸命頑張ってうまくできてよかった。
- ・玉ねぎを切っても涙が出なかったのが、玉ねぎを冷蔵庫に入れておいたかなと思った。
- ・ジャガイモは皮むきが大変だった。切る時もつるつるとすべるので切りにくかった。
- ・野菜を切るのを講師の方に教えてもらったので、上手にできて嬉しかった。家でも上手に切れるように頑張ろうと思う。
- ・野菜を切るのが楽しかった。ニンジンのイチョウ切りを教えてもらった。このことをキャンプできっちりやりたい。
- ・レンガで炉を造っているとき、大きいムカデが出てきたのでびっくりした。
- ・飯盒を炉にかけた後、マッチで火をつける練習をした。少し怖かったけどうまくつけることができた。
- ・炉は熱いし、煙は目にしみるし大変だったけど、一生懸命頑張った。
- ・火の加減が難しく強くなったと思って目を離せばすぐ弱くなってしまった。
- ・薪割りは斧が重たかったし、力の加減も難しかった。でも、難しいのが楽しかったので何回でも挑戦した。
- ・薪割りで講師の方のアドバイスは、「足を開く」「薪に斧がささるまで手で持っている」「薪に斧がささったら、両手で斧を持って割る」だった。その通りにやってみるととってもやりやすかった。
- ・カレーを食べていたらなんだか嬉しくなった。ニンジンや玉ねぎやジャガイモがおいしかったからだ。このカレーはみんなで作ったみんなの努力や思い出が詰まった素晴らしいカレーだと思った。
- ・グループのみんなで一生懸命に作ったカレーはお店や家で食べるカレーよりおいしく感じた。
- ・汚れがたくさんついてたお鍋を洗うのは大変だったが、みんなで協力したのであまり

疲れなかった。

- ・お皿を洗うのが好きなので、いっぱい洗えてよかった。
- ・後片付けは大変だったけど、協力してできたので早く終わることができた。
- ・私は自分のことで精一杯という考えはもうしないようにする。それは後片付けで友達が自分の班だけでなく他の班の食器を拭いていた姿を見て、自分も色々なことを進んでしなければいけないと思ったからだ。
- ・キーホルダー作りで、ハート型の木を生かして大きいハートを描き、裏にはクローバーを描いた。色々な色を使ってきれいに完成させた。
- ・「お米の話」の中で世界のお米の種類が違うなら料理のやり方も違うんだなと思った。

昔のおこしもの作り、エプロンシアター（食育劇場）、竹林遊び

◎市が洞小 3年 6月21日、22日、23日

- ・マッチで火をつけるとき、強く擦らないとつかないことを知った。
- ・かまど係の先生は、「この木は燃えやすい木だよ。これは燃えにくい木だよ。」と分かりやすく説明してくれた。
- ・かまどで火をつけると、だんだん熱くなっていったのでびっくりした。
- ・七輪に火を入れて火をおこすのが楽しかった。
- ・七輪の係だったが、消し炭を入れるのが難しかった。
- ・昔のおこしもの作りをして、かまどの熱さで疲れた。今の時代はすごくいい時代だと分かった。
- ・おこしものを蒸してから、水に濡らすと、鮮やかな色になりびっくりした。
- ・食紅をつけて、生地を混ぜるのが少し難しかった。
- ・買ってきたおこしものより、自分で作ったおこしものの方が、作り立てでおいしかった。
- ・手間暇かけて作った食べ物おいしいという言い伝えは本当だった。
- ・色がきれいで、全部食べるのがもったいなくて、あんまり早く食べられなかった。
- ・しょうゆをつけたおこしものは今まで食べた食べ物で一番だった。
- ・みんなが協力して作ったおこしものはすごくおいしかった。
- ・おこしもの作りでは、仲良くしたり、協力したりしてできた。
- ・片付けが大変で汗をいっぱいかいた。
- ・エプロンシアターで学んだ言葉は「小腸」「大腸」「食道」だった。
- ・エプロンシアターでは、体の中の仕組みがよく分かったので勉強になった。
- ・昼休みに竹林で竹登りをした。上の方までけっこう登れて嬉しかった。
- ・竹林で何本かの竹を木の棒で叩いて竹の音を聞いた。色々な音があつておもしろかった。
- ・竹林で竹に登ったのが初めてなので、怖かったけどやっているうちにハマってしまった。
- ・竹林でビニールそりをして、すごく楽しかった。
- ・竹林で高いところから、袋すべりをして楽しかった。
- ・おこしもの作り、竹林での遊び、エプロンシアター、みんな楽しかった。また是非来たい。

- ・今日あったことを全部お母さんに伝えたい。
- ・おみやげの2個は母と自分へのご褒美として食べたい。

◎南小 3年 1月25日、26日、27日

- ・おこしものを作る道具をいっぱい教えてもらい、昔の人はすごいなあと思った。
- ・かまどでの火の扱いをやけどに気をつけてやった。こども塾ではこういうものを学んだなあと思った。
- ・かまど係だったので、薪を入れ、ちょっとしたら火が大きくなってびっくりした。
- ・米粉に熱湯を入れて生地を作っていたが柔らかくて気持ち良かった。
- ・さらさらだった米粉が熱湯を入れて練るだけですごく固くなりびっくりした。
- ・米粉を練る時、体重をかけて練るんだけど、私はジャンプしないとうまく練れなかった。
- ・生地を秤で60gちょうどに量るのが難しかった。
- ・型に生地を入れていくとき、型に合うように入れるのが楽しかった。
- ・型から生地を起こすのにガンガンやったのでうるさかったけど、楽しかった。
- ・おこしものを蒸籠（せいろう）で蒸した後、水をかけると色がきれいになった。
- ・七輪係は七輪に消炭を入れ、その上から赤くなった炭を入れた。その後、木型を洗いに行ったら、全体に赤くなってびっくりした。
- ・最後に砂糖醤油をかけて食べたがとてもおいしかった。
- ・手が凍りそうぐらいだったけど、洗いものも楽しかった。
- ・何回もおこしものは作ったことがあるが、今回はとびっきりおいしかった。なぜならみんな協力して作ったからだ。
- ・おこしものを作るのも楽しかったし、おいしかったから家でもやってみたいなあと思った。
- ・みんなで力を合わせれば何でもできることを教わった。
- ・ぼくは人の話を目で聞けたと思う。
- ・エプロンシアターを見て、野菜や麺類などバランス良く食べると健康にいいことが分かった。
- ・エプロンシアターで食べ物を良く噛んでから飲み込むことや食べ物は口からいろいろなところを通って行くことが勉強になった。
- ・家に帰ったらお母さんとお父さんと妹と弟にあげようと思う。
- ・お土産のおこしものをお母さんに食べてもらって、早くお母さんの笑顔がみたい。
- ・友達と竹を木の棒で叩いて気づいてことがあった。それは、叩いた音によってドレミファソラシドがあったことだ。
- ・竹登りを上手にしている友達を見てすごいなあと思った。
- ・竹登りは、始めは登れなかったが、また、挑戦したら登れた。嬉しかった。
- ・ダンボールすべりは、すべる場所でスピードも変わってとても楽しかった。

◎西小 3年 2月23日、24日

- ・米粉に熱湯を入れるとき、その日の天気によって入れる湯の量が違うことが分かった。
- ・おこしものを蒸した後に水に濡らすと色のついた部分が鮮やかな色に変わった。
- ・おこしものがカラフルにできたので嬉しかった。
- ・作ったおこしものを砂糖醤油をかけて食べたらとてもおいしかった。
- ・おこしものがどんなものなのか見たことも聞いたこともなかったけど、作っていくうちにだんだん分かってきた。
- ・かまど係で炭を取るのが精一杯だった。目が熱くなり苦勞した。昔の人はすごく苦勞したんだなあと思った。
- ・木を入れるとき木と木を空けてのせないと火があんまりつかないことを教わった。
- ・新聞紙にマッチで火をつけるとき全然つかなかったけど、強く早く擦ったらできて嬉しかった。
- ・今日、初めて七輪でおこしものを焼いて楽しかった。思い出に残る一日になった。
- ・ぼくは、七輪の窓みたいところで火の調節をした。
- ・おこしものを七輪で焼いていて、匂いを嗅いでみたらすごくいい匂いがした。
- ・後片付けはみんなで協力してできたので、すごくきれいにできた。
- ・私は調理係で、お皿洗いを2回した。腰が痛くて手も冷たい、拭くのも時間がかかり大変だった。
- ・お皿やお箸やコップを洗えて楽しかった。
- ・自分で作ったおこしものがとてもおいしかったので、家でも作ってみたい。
- ・作り方を覚えているので、家に帰ってからも、いっぱい作ってお父さん、お母さん、弟や妹にあげて一緒に食べたい。
- ・オーブントースターでチンしたおこしものより、七輪で焼いたおこしものの方がおいしかった。
- ・竹を棒で叩くと、演奏会ができそうなくらいとてもいい音が出た。
- ・竹登りではなかなか登れず、裸足になったら少し登れた。
- ・竹を登ったときの高さは、自分の身長のおよそ2倍くらいだったのでとても高くて怖かった。
- ・木の棒で竹を擦るとカエルが鳴いているみたいでおもしろかった。
- ・こども塾は何回行っても飽きない。もうずっと帰りたくない感じがする。
- ・今日は雨で、竹林で遊べないのが残念だった。
- ・エプロンシアターでは、小腸が5～6mあることが分かり、すごく長いんだなあと思った。
- ・エプロンシアターでは、赤、黄、緑、白の食べ物をバランス良く食べると元気が出ることが分かった。
- ・マーちゃん劇場で、大腸や小腸など体の中にあるものが分かった。おなかで元気だとバナナうんちが出ること、元気じゃないとべちょべちようんちになること、バナナうんちにするには、緑色の野菜などバランス良く食べることが大事だと分かった。

昔のおこしもの作り、昔の遊び、竹林遊び

◎北小 1年 2月14日、15日、16日、17日

- ・おこしもの難しいのは、こねるときだ。すごい力を使うのでとても大変だ。
- ・おこしもの作りは、生地をこねたり、色をつけたり、型に生地を入れるのがおもしろかった。
- ・講師の先生が上手に教えてくれたからおこしものがきれいにできたよ。
- ・おこしもの作りは楽しすぎて6個ぐらい作った。
- ・みんなで楽しく型に生地を入れて、起こしたらきれいに作れて嬉しかった。
- ・おこしものを作るのも楽しかったし、食べてもものすごくおいしかった。
- ・おこしもの作りでは、蒸籠やかまどなどを教えてもらった。
- ・お土産のおこしものを見て、お母さんは知らなかったんだって。初めてお母さんが食べて、おいしかったって言ってたよ。
- ・ぼくは、堅くて重い木と柔らかくて軽い木があることとホームセンターに売っている火力の強い炭とこども塾にある弱い消し炭があることが分かった。
- ・マッチで新聞紙の角に火をつけた。つけるときやけどをするかと思ったけど上手にできた。
- ・かまどの中に入っている炭を取るとき、目が痛かったけど楽しかった。
- ・焼き係は大変だった。途中で火が消えそうでドキドキした。
- ・木の棒で竹を叩くとドレミファソのきれいな音が出ておもしろかった。
- ・竹が切れているのを叩いたらおもしろい音が出た。
- ・竹登りがすごく楽しかったよ。
- ・けん玉は4回乗ったので嬉しかった。
- ・初めてやるコマ回しやだるま落としを教えてもらって楽しかった。
- ・コマ回しで、回せると嬉しくなった。
- ・だるま落とし、最初は全然できななかったけど、先生がコツを教えてくれて上手にできるようになった。
- ・竹トンボは、始めはうまく飛ばせなかったが、だんだんうまくなって高く飛ぶようになったからとても楽しかった。
- ・私はお手玉が得意でうまくできて嬉しかった。
- ・私は竹トンボと竹登りをやりたかったけど、雨が降ってできなかったのが残念だった。

七夕飾り作り

◎長久手小 1年 6月29日、30日、7月1日

- ・願い事を3つ短冊に書いた。その中で一つ叶うといいな。
- ・七夕飾りを作って楽しかった。家に帰ってから、また作りたいな。
- ・提灯は難しかったけれど、できたら楽しかった。

- ・最初の織姫と彦星の話は楽しかった。
- ・七夕飾りは上手にできた。切子がきれいだった。
- ・笹に飾りをつけたら、きれいだったよ。
- ・竹飾りをお家に持って帰って、早くママに見せたいな。
- ・切子が一番難しかったけれど、講師の先生のお話を聞いてだんだんわかってきた。
- ・七夕飾り作りは全部楽しかったよ。
- ・作り方をやさしく教えてくれたので、上手にできた。
- ・笹に七夕飾りをたくさんつけたことが楽しかった。
- ・3つの願いが叶うといいな。
- ・織姫と彦星の作り方が簡単だったよ。
- ・提灯を作るのが難しかった。
- ・七夕飾りが上手にできてうれしかった。
- ・切子をはさみで切ってから、広げるのが難しかった。
- ・最初は上手にできないかと思ったけれど、やさしく教えてくれたから上手にできた。

木車作りと秋の体感、竹林遊び

◎南小 2年 10月25日、26日、27日、28日

- ・木車にクリで運転席を作った。そして、タイヤに目を描いた。
- ・ドングリや小さな木をつけたりして、すごく楽しかった。
- ・カーブしているクリをつけるのは大変だったが、講師の人に教えてもらいうまくくっつけられた。
- ・かぼちゃの種をタイヤにつけ、ドングリをライトがわりにつけた。
- ・木車作りでは、木や実をつけるのが難しかったけど、講師の先生にいろいろ教えてもらって上手にできた。
- ・一番学んだことは、平らにしたらボンドがうまくくっつくことだ。
- ・最初はボンドでつけるのが難しかったけど、だんだん慣れてきてボンドがうまくくっつけられるようになった。
- ・ドングリをくっつけたいのになかなかくっつかないので、難しかった。
- ・飾りをいっぱいつけて素敵な木車ができた。先生たちが「すごいね。」と褒めてくれた。
- ・木車作りは難しかった。つけても取れちゃって何度もやったらやっとくっついた。
- ・木車作りで、ドングリ、ドングリのボウシ、小さい木、オナモミなどを飾って素敵な車が出来た。車体が丸いのでつけるのに苦労した。
- ・長い枝をつけるときは、少し動かすだけで取れてしまい大変だったが、かわいい木車ができたので嬉しかった。
- ・材料を選ぶときどれにしようかと迷いながら、いいものを見つけるのが一番楽しかった。
- ・木車作りで、いろいろなパーツをいっぱいつけて、こんないいものができるとは思わなかった。
- ・木車作りでは、自分でドングリや木を自由にどんどんつけていくことができ楽しかった。

た。

- ・講師の先生にボンドはいっぱいつけない方がいいよと言われて、ちょこっとつけてみたらすごくくっついた。
- ・一番くっつきにくかったのが松ぼっくりだった。松ぼっくりを頑張って乗っけてみたらうまくできて嬉しかった。
- ・ドングリのお客さんがなかなかくっつかなくて何回も落下した。ずーっと手で押さえたらくっついた。苦労した甲斐があったなあと思った。
- ・顔の目とか口を木の実とドングリのボウシで作ったら気に入ったものができる。
- ・友達作品を見てすごいなあと思った。自分もやる気が出て頑張ってやったらきれいなかつこいい木車ができる。
- ・秋さがしでは、ススキ、セイタカアワダチソウ、ヤマユリ、ゼンダン等、秋の草花をいっぱい見ておもしろかった。
- ・秋さがしに行き一つの植物を採るように言われたので、いっぱい草花がある中で一番秋らしいススキを採った。
- ・秋さがしでは、ヒメジョオン、タデなどの草花があつてきれいだった。
- ・竹林でビニール袋ですべったのが楽しかった。
- ・竹登りを初めてやって私はできるかなあと思ったけど、少しうまくなってなんかうきうきしてきた。
- ・竹林で竹を叩いて音を聞くのが楽しかった。竹は細いものと太いものでは音が全然違った。中くらいがいい音だった。

カスタネットとドングリやじろべえ作り、焼き芋、竹林遊び

◎東小 1年 11月2日

- ・焼き芋がほくほくでおいしかった。
- ・一番楽しかったのは焼き芋を食べたことである。
- ・焼き芋はサツマイモを新聞紙で包んで水でぬらしアルミホイルをまくのを初めて知った。
- ・カスタネットとドングリやじろべえが作れてよかった。
- ・ドングリやじろべえは難しかったけど楽しかった。
- ・ドングリやじろべえは作るのも作ってから遊べるので一番楽しかった。
- ・やじろべえでは、葉っぱやドングリ、かぼちゃの種などいろいろなパーツをくっつけて完成させることができてよかった。
- ・カスタネットでは、ゴムで結ぶのは難しかったけど、絵が上手に描けてよかった。
- ・カスタネットの演奏が楽しかった。最初は緊張したけどうまいってよかった。
- ・今日の演奏会は、練習より歌が元気でリズムがちゃんとできていたから嬉しかった。
- ・竹林で遊んだとき、竹を叩いたら音楽みたいになった。キツツキみたいにコンコンって音がした。

松ぼっくりのクリスマスツリー作り、焼き芋、竹林遊び

◎北小 2年 11月8日,9日,10日,11日

- ・いいにおいがふぁっーと広がって食べる時は熱かったけど甘くておいしかった。
- ・焼き芋の味はできたてのほくほくのまいうーだった。
- ・始めにさつまいもを新聞紙に包み、水の中に入れ水を絞った。そのあとにアルミホイルに包み火の中へ投げ入れた。このようにして、焼き芋をすることは知らなかった。
- ・焼き芋がすごくおいしかったから、家族の人に早く食べさせたい。
- ・雨が降って焚火の焼き芋でなく、かまどでの石焼き芋になったが、ほくほくのとてもおいしい芋が食べられてよかった。
- ・ツリー作りでは、スパンコールやビーズや秋の実の飾りをいっぱいつけるのを一生懸命やったので素敵なものができ、嬉しかった。
- ・ツリー作りは、時間がかかったけど、いろいろな飾りがつけられてカラフルなツリーができよかった。
- ・全部のパーツをツリーにつけた。ドングリをボンドでつけるのが一番大変だった。
- ・ツリーにラメやビーズ、木の実をたくさんつけたら「すごいね。」と言われて嬉しかった。
- ・見たこともないでっかい松ぼっくりに木の実や葉っぱをつけていくのはとても楽しかった。
- ・ツリーで工夫したことは、クリに発泡スチロールで目を作り枝を切って口にし、雪が降ったみたいにしたことだ。
- ・小ちゃい木、葉っぱ、赤い実、青い実をいっぱいつけたらどんどんかわいくなって気に入ったツリーができた。
- ・クリスマスツリーで、発泡スチロールの丸いのは雲みたいでかわいかった。
- ・クリをつける時ボンドでくっつきにくかったけど、小さな実を間に挟んだらうまくくっついた。
- ・ツリーの観賞会では、友達から100点満点の100点と言われてとても嬉しかった。
- ・細い竹でも折れずに登れることを知った。
- ・竹登りがとても楽しかった。
- ・竹林で竹を叩いていい音が出て楽しかった。
- ・竹林で竹を木で叩いてたら、音が違うのが勉強になった。
- ・ダンボールでそりをしたらけっこうすべった。

餅つきと昔の遊び、竹林遊び

◎市が洞小 2年 11月24日、25日、30日、12月1日、2日

- ・餅つき、昔の遊び、竹林での遊びはどれもみんな楽しかった。こんな楽しいことができる場所はここ以外どこにもない。
- ・臼、杵、かまど、おくどさん、せいろう、てこなどいろいろな言葉を教えてもらった。
- ・お餅は冷めるとすぐ硬くなるなんて初めて知った。

- ・もち米を蒸すときいい香りがしていた。
- ・餅つきをしたとき右足を前に出すことが分かった。
- ・杵を持つとき、右手を上にして左手を下にして持つことを初めて知った。
- ・お餅つきのときみんなで「よいしょ」と大きな声で言って応援した。
- ・餅つきで杵が重かったが、「上手」と言われて嬉しかった。
- ・最初に餅をつくとき米が外に飛び出ることや膝を曲げてつくなどいろいろなことを教えてもらった。
- ・最初、杵でもち米をおもちみたいにするとき、はじめはお米がいっぱいあったようにしか見えなかったけど、こねこねしていたらお餅みたいになってきた。それがおもしろかった。
- ・小豆の缶を缶切りであけると、難しかったけど講師の先生に教えてもらってできた。
- ・黄粉、小豆、大根おろしの3種類の中で一番おいしかったのは小豆だった。
- ・大根おろしがちょっと辛かった。黄粉が一番おいしかった。
- ・大根おろしをのせた餅を食べたら辛すぎて泣きそうになった。
- ・つくたてのお餅(臼端餅)は、黄粉や小豆をのせなくてもこんなに甘いんだと思った。
- ・私はお餅を7個食べた。友達は8個食べた。
- ・お餅を食べ終わってからの後片付けが大変だったが、みんなで力を合わせてやったので早くできた。
- ・けん玉が苦手だが、先生が「ゆっくりと落ち着いてやるんだよ。」と教えてくれた。落ち着いてやると本当にできた。
- ・けん玉遊びで、初めて乗せることができ、すごく嬉しかった。
- ・だるま落としは、最初全然できなかったが、練習したら連続3回できた。
- ・おはじきがこんなに楽しいなんて知らなかった。
- ・竹トンボがとても高く飛んでびっくりした。
- ・昔遊びのコマ回しで2回目で初めてコマを回せることができ楽しかった。
- ・昔遊びは4つとも全部楽しかった。
- ・竹登りですごく高いところまで登れ、お猿さんになった気分で嬉しかった。
- ・講師の先生に竹登りの高く登れるコツを教えてもらったおかげで、速く登れるようになった。
- ・ダンボールすべりですべったときにすごく楽しいと思えた。
- ・木の棒で竹を叩くと低い音や高い音が出てとてもきれいだった。
- ・竹をずっと叩いていると、ドレミファソラシドと聞こえたような感じになった。
- ・竹を叩いていたら、細い竹よりも太い竹の方が音がよく響くということが分かった。

◎西小 2年 12月14日、15日、16日

- ・餅つきで杵は軽いと思っていたけど、以外に重かった。
- ・杵で餅をついたとき、「上手、上手。」と言われたので嬉しかった。
- ・3回お餅をついた。ペタペタペタと音がしていいにおいがしていた。
- ・餅つきは最初、米と米をくっつけ、ついて米が飛ばないように杵でこねることを知った。

- ・臼端餅（うすばたもち）を食べたら普通のお餅と違って柔らかくおいしかった。なぜ、何もつけてなくてもおいしかったのは不思議だ。
- ・大根おろしに使った大根は、自分たちが育てた大根なので特別おいしかった。
- ・大根おろしは辛かったけど、なんかおいしいと感じた。
- ・小豆をのせたお餅がおいしかったので、小豆だけのおかわりを4個食べた。
- ・小豆、黄粉、大根おろしは全部好きなのでいっぱい食べた。
- ・竹トンボは、最初うまくできなかつたけど、だんだんコツがつかめてきて高く飛ばせるようになった。
- ・先生に、「右手を強く押すといいよ。」と言われたので、強く押したら高く飛んだ。すごく飛ばせるやり方を次はぼくが教えてみたい。
- ・だるま落としで5個全部できたので嬉しかった。
- ・だるま落としは最初なかなかできなかつたが、講師の先生に教えてもらったろうまくできた。
- ・けん玉は今まで1回もできなかつたが、できてすごく嬉しかった。
- ・私は鉄のコマは回せるけど、木のコマやったことがないので、今日は木のコマでも回せることができ感動した。
- ・昔遊びは4種類全部上手にできて嬉しかった。
- ・昔遊びをこども塾で教えてもらったことを家でもやってみたい。
- ・竹演奏をみんなでやるとカンコン、コンカン、キンキン、キンカンという音がしてすごかった。
- ・ダンボールのそりもビニール袋のそりもよくすべることが分かった。

◎長小 2年 2月8日、9日、10日

- ・砂糖を入れてない黄粉を味見すると何だか豆まきでまいた豆の味がした。
- ・もち米の匂いをかいだり、砂糖を入れない前の黄粉の匂いをかいで、最初はこんな匂いなんだなと思った。
- ・もち米からぶにぶにお餅になったのでびっくりした。
- ・つきたてのお餅は何にもつけなくてもおいしかった。
- ・餅つきをしていっぱいお餅を食べられて嬉しかった。
- ・出来立てほやほやのお餅はおいしかった。
- ・お餅は嫌いだったけど、つきたてのお餅はとてもおいしかった。
- ・餅つきで杵を高く上げるのはとても大変でとても疲れてしまったが、そのあと食べたお餅のおかげで体力が戻った。
- ・大根おろしのお餅ピリッと辛くて思ったよりおいしいなと思った。
- ・お餅を「黄粉」「あんこ」「大根おろし」で食べた。全部おいしかった。
- ・大根おろしは、初めて食べてこんな味なんだなあと考えた。体験できて嬉しかった。
- ・私はけん玉が得意で、連続でできる人は二人しかいなかったのですごく嬉しかった。
- ・コマは回せないけど、紐はまけるようになった。
- ・つきたてのお餅と黄粉と小豆と大根おろしを食べた。小豆は嫌いだったけど好きになれ

た。

- ・だるま落としでみんなにも先生にも「すごーい。」と言われたので嬉しかった。
- ・昔遊びでけん玉とだるま落としが得意になった。
- ・コマ回しは全然できなかったけど、上手にできるようになったので嬉しかった。
- ・竹トンボはよく飛ぶのですごかった。
- ・竹遊びでは太い竹の真ん中ぐらいがいい音だった。
- ・ぼくは学校の登り棒も竹も登れなかったけど、足の使い方を教えてもらって登れるようになった。登り棒も登れるような気がする。
- ・竹登りで、講師の先生に「2年生の新記録だ。すごい。」と言われたので嬉しかった。
- ・竹林でみんなが竹を叩いて、森のカーニバルみたいだった。
- ・こんなに楽しくておいしいものを食べられたので、休まなくて良かったなと思った。
- ・今日はみんなが頑張ったと思う。やっぱり協力するのは大事なことだととてもよく分かった。
- ・たくさんいろいろな遊びを教えてもらったので家でもやってみたい。

かまどでご飯を炊いて五平もち作り、竹林遊び

◎東小 3年 2月1日

- ・かまど係で木を入れるときが一番楽しかった。
- ・たれを作るときすごくいい匂いがして、味見をするとすごくおいしかった。
- ・ピーナッツの皮をむくのは簡単だったけど、すりこぎで潰すとき、「強くやって体重をかけなさい。」と言われて、やったら腕がすごく痛くなった。
- ・五平餅作りは、お米を洗ったり、ピーナッツやくるみをすり潰してたれを作ったり、半殺しにしたご飯を木の棒につけて焼いたりしてとても楽しかった。
- ・ご飯をつぶしたり、120gずつにしたりしたのがすごく楽しかった。
- ・冷たい水でお皿を洗って終わったら、「温かいお湯につけていいよ。」と言われたので、手を入れたらものすごく温かかった。
- ・焼き係は、次から次へと五平餅をひっくり返すので大変だった。
- ・ぼくの五平餅のくしが焦げて壊れてしまったけど、おいしかった。
- ・五平餅はおいしかった。家でも簡単にできる方法を教えてもらったので、一度家族で作って食べたい。
- ・最高にうまい五平餅ができた。家でも作ってみたい。
- ・エプロンシアターで、栄養のことを教えてもらったので、これから何でもよく食べて、良く噛んで食べなきゃいけないと思った。
- ・1本の竹でも音がいろいろあった。「竹ってすごいなあ。」と思った。ドレミファソラシドはできなかったけど、いろいろな音が出て楽しかった。
- ・竹登りで、みんなが、「すごい、すごい。」と言ってくれて、とても楽しい日になった。
- ・竹林でダンボールで高いところからすべって、とても楽しかった。